

大学生における嫌われる男性及び女性の特徴*

豊田 弘司**

(心理学教室)

要旨：291名の大学生を対象に「女性から嫌われる男性」「女性から嫌われる女性」「男性から嫌われる男性」及び「男性から嫌われる女性」の特徴を3つずつ自由記述する調査を行った。「女性から嫌われる男性」の特徴としては「不潔」「しつこい」、「女性から嫌われる女性」の特徴としては「自分勝手・わがまま」「異性の前での態度が違う」、「男性から嫌われる男性」の特徴としては「自分勝手・わがまま」「暗い」、「男性から嫌われる女性」の特徴としては「自分勝手・わがまま」「暗い」「うるさい・おしゃべり」が上位項目としてあげられた。また、男子学生と女子学生の回答の違いや恋愛経験による回答の違いが示唆された。

キーワード：同性、異性、嫌われる特徴

個人のもつ好かれる特徴を研究する分野は対人魅力 (interpersonal attraction) と呼ばれ、これまで多くの研究が発表されている。なかでも、Anderson (1968) の研究は有名である。彼は、大学生に555の性格特性語を示し、それぞれの特性語が示す特性をもつ人物の好意度を評定させている。その結果、平均好意度評定値の最も高い上位2特性語は「誠実な」「正直な」であり、低い下位2特性語は「うそつき」「いかさま師」であった。この結果は、「正直—うそつき」という次元が対人魅力において重要であることを示唆している。一方、我が国においては、松井・江崎・山本 (1983) が、大学生やサラリーマンを対象に、「もっとも魅力を感じる異性」の特性を調査している。その結果は、男性像及び女性像ともに、「思いやりのある」「やさしい」が上位にあがっていた。これは、我が国では、「他者への思いやり」が対人魅力における重要な次元である可能性を示している。

このように、対人魅力における重要な次元が指摘されてきたが、上述の研究は、好かれる特徴に関心があり、嫌われる特徴は注目されてこなかった。しかし、我々は好きな特徴と同じく、嫌いな特徴について意識することが多い。また、児童・生徒の対人関係の問題に対応するために社会的スキル (菊池、1988) の訓練が注目されているが、他人から「嫌われる特徴」を知っていることは社会的スキル訓練と同様に対人関係を円滑にするための重要な手がかりとなるであろう。それ故、「嫌われる特徴」を直接検討する必要があるといえよう。教師像については、「嫌いな教師」の特徴を調べた研究はあるが (杉村、1979; 豊田、1996)、「嫌いな人」の特徴

* The characteristics of males and females that are disliked in undergraduates.

** Hiroshi TOYOTA (Department of Psychology, Nara University of Education)

を直接検討した研究は著者の知る限り、最近の研究には見あたらない。

さらに、これまでの対人魅力に関する調査研究は被調査者の性と対人魅力の評定対象の人物の性との組み合わせについては考慮されてこなかった。すなわち、男性からみた際の好きあるいは嫌いな男性及び女性、女性からみた好きなあるいは嫌いな男性及び女性という視点での分析は乏しかったように思われる。

上述したような理由から、本研究では、「嫌われる特徴」に注目し、「女性から嫌われる男性」「女性から嫌われる女性」「男性から嫌われる男性」及び「男性から嫌われる女性」の特徴を検討する。また、嫌われる異性の特徴に関しては、恋愛経験の有無が影響する可能性も考えられるので、この点についても併せて検討する。

方 法

被調査者 N教育大学の学生117名（男29名、女88名）及び私立K大学の学生174名（男123名、女51名）合計291名であり、平均年齢は19歳9か月（18歳1か月～24歳3か月）であった。なお、わかりやすいように、被調査者の恋愛経験の有無及び男女別の内訳が表1に示されている。

表1. 被調査者の内訳

恋愛経験	男	女	計
有	80	87	167
無	72	52	124
計	152	139	291

材 料 男性に嫌われる男性、男性に嫌われる女性、女性に嫌われる男性及び女性に嫌われる女性のそれぞれの特徴を記述してもらうための調査用紙を作成した。この用紙はB6版で、1)女性から嫌われる男性の特徴を書いて下さい。2)女性から嫌われる女性の特徴を書いて下さい。3)男性から嫌われる男性の特徴を書いて下さい。4)男性から嫌われる女性の特徴を書いて下さい。という指示が示されていた。そして、各指示の下に3行の空欄が設けてあり、そこにそれぞれの特徴を記入するようになっていた。なお、この用紙の最上部には、年齢及び恋愛経験の有無を記入する欄が設けられていた。

手 続 集団調査を実施した。被調査者は、配布された上述の調査用紙に指示された内容に基づいて「女性から嫌われる男性」「女性から嫌われる女性」「男性から嫌われる男性」及び「男性から嫌われる女性」の順に、該当する特徴を3つずつ自由に記述していった。なお、すべての被調査者が自由記述を終えるのに、10分を要した。

結 果 と 考 察

女性から嫌われる男性

表2には、「女性から嫌われる男性」について回答数の多かった特徴が示されている。

表2. 女性から嫌われる男性の特徴（上位5位までの反応項目）

恋愛経験	男子学生	女子学生		
有	①不潔	51(63.8)	①不潔	48(55.2)
	②しつこい	28(35.0)	②しつこい	22(25.3)
	③暗い	20(25.0)	③自分勝手・わがまま	18(20.7)
	④容姿が悪い	16(20.0)	④軟弱	11(12.7)
	⑤暴力的	9(11.3)	⑤思いやりのない	9(10.3)
無	①不潔	37(51.4)	①不潔	22(42.3)
	②しつこい	32(44.4)	②しつこい	16(30.8)
	③暗い	28(38.9)	③自分勝手・わがまま	11(21.2)
	④自分勝手・わがまま	10(13.9)	④暗い	9(17.3)
	⑤優柔不断	10(13.9)	⑤思いやりのない	8(15.4)

() 内は%であり、回答数を各群の人数で割ったものである。

表3. 女性から嫌われる女性の特徴（上位5位までの反応項目）

恋愛経験	男子学生	女子学生		
有	①自分勝手・わがまま	32(40.0)	①自分勝手・わがまま	36(41.4)
	②ぶりっこ	20(25.0)	②ぶりっこ	25(28.7)
	③暗い	12(15.0)	②悪口を言う	19(21.8)
	④うそつき	9(11.3)	④異性の前で態度が違う	16(18.4)
	⑤異性の前で態度が違う	8(10.0)	⑤性格に裏表がある	14(16.1)
無	①自分勝手・わがまま	28(38.9)	①自分勝手・わがまま	31(59.6)
	②暗い	20(27.8)	②ぶりっこ	13(25.0)
	③高飛車	13(18.1)	③異性の前で態度が違う	9(17.3)
	④思いやりのない	12(16.7)	④性格に裏表がある	8(15.4)
	④異性の前で態度が違う	12(16.7)	⑤派手	6(11.5)
			⑤自慢屋・自信家	6(11.5)

() 内は%であり、回答数を各群の人数で割ったものである。

1) 共通する特徴

男女・恋愛経験を問わず、共通して上位にあげられている特徴は、「不潔」、「しつこい」であった。これらの特徴は女性から嫌われる男性の特徴として強く意識されているものと考えられる。

2) 男女による違い

女子学生の回答には、「思いやりのない」という特徴が第5位にあげられているが、男子学

表4. 男性から嫌われる男性の特徴（上位5位までの反応項目）

恋愛経験	男子学生	女子学生		
有	①暗い	22(27.5)	①自分勝手・わがまま	29(33.4)
	②自分勝手・わがまま	17(21.3)	②暗い	22(25.3)
	③面白くない	15(18.8)	③自慢屋・自信家	15(17.2)
	④思いやりのない	10(12.5)	④女たらし	12(13.8)
	⑤不潔	9(11.3)	⑤かっこつけ	8(9.1)
無	①自分勝手・わがまま	32(44.4)	①自分勝手・わがまま	18(34.6)
	②暗い	27(37.5)	②暗い	15(28.8)
	③面白くない	8(11.1)	③面白くない	8(15.4)
	④協調性がない	7(9.7)	④信頼できない	7(13.5)
	④お金にうるさい	7(9.7)	⑤協調性がない	6(11.5)
	④うるさい・おしゃべり	7(9.7)	⑤男らしくない	6(11.5)
	④不潔	7(9.7)		

() 内は%であり、回答数を各群の人数で割ったものである。

生の回答には上位項目にはあげられていない。女子学生は思いやりのない男性を嫌う意識が強いに対し、男子学生はそのような認識がないことがうかがえる。また、男子学生では「容姿が悪い」ことがあげられているが、女子学生の場合は全くあげられていない。従って女子学生は男子学生が意識するほど、男性の容姿についてはあまり嫌いな特徴として意識していないことがわかる。

3) 恋愛経験による違い

恋愛経験のある女子学生の回答は、「軟弱」という特徴が4位にあがっているのに対し、恋愛経験のない女子は「暗い」という特徴をあげている。恋愛経験によって男性の軟弱さが嫌いな特徴として意識されるようになることがうかがえる。

女性から嫌われる女性の特徴

表3には、「女性から嫌われる男性」について回答数の多かった特徴が示されている。

1) 共通する特徴

男女・恋愛経験を問わず、1位にあげられているのは、「自分勝手・わがまま」という特徴であった。また、「ぶりっこ」や「異性の前で態度が違う」という特徴を回答する者も多かった。

2) 男女による違い

男子学生では「暗い」という特徴を女性から嫌われる女性の特徴としてあげられている者が多いが、女子学生の回答では、「暗い」は上位の回答としてはあがっていない。異性と同性での意識の違いが明確に反映されているといえよう。

表5. 男性から嫌われる女性の特徴（上位5位までの反応項目）

恋愛経験	男子学生	女子学生		
有	①暗い	23(28.8)	①自分勝手・わがまま	25(28.7)
	②派手	21(26.3)	②暗い	20(25.0)
	③自分勝手・わがまま	19(23.8)	③不潔	16(20.0)
	④うるさい・おしゃべり	13(16.3)	④うるさい・おしゃべり	15(18.8)
	⑤不潔	11(13.8)	⑤ぶりっこ	11(13.8)
無	①うるさい・おしゃべり	29(40.3)	①自分勝手・わがまま	16(30.8)
	②自分勝手・わがまま	28(38.9)	②暗い	14(26.9)
	③派手	22(30.6)	③うるさい・おしゃべり	10(19.2)
	④暗い	19(26.4)	④容姿が悪い	8(15.4)
	⑤容姿が悪い	13(18.1)	⑤不潔	7(13.5)

() 内は%であり、回答数を各群の人数で割ったものである。

男性から嫌われる男性の特徴

表4には、「男性から嫌われる男性」について回答数の多かった特徴が示されている。

1) 共通する特徴

男女・恋愛経験を問わず、上位にあがっている回答は「自分勝手・わがまま」「暗い」であり、これらの特徴を持つ男性は、男性から嫌われると考えられていることがわかる。

2) 男女による違い

男子学生では、「不潔」という特徴があげられているが、女子においてはあげられていない。これは、女子学生が男性同士のつきあいにおいて、「清潔さ」は重視されていないと考えていることがうかがえる。

男性から嫌われる女性の特徴

表5には、「男性から嫌われる女性」について回答数の多かった特徴が示されている。

1) 共通する特徴

男女・恋愛経験を問わず、共通してあげられている特徴は、「自分勝手・わがまま」「暗い」「うるさい・おしゃべり」であった。特に「うるさい・おしゃべり」は、表2～4には見られず、男性から嫌われる女性として特徴的なものであるといえる。

2) 男女による違い

男子学生の回答では、「派手」という特徴が上位項目としてあげられているが、女子学生の回答ではあがっていない。女性は自分の派手さが、男性に嫌われる特徴であることをあまり意識していないようである。

3) 恋愛経験による違い

恋愛経験無し群では、「容姿が悪い」という特徴が上位項目としてあげられているが、恋愛経験有群ではあがっていない。これは、恋愛を経験することによって、女性の容姿を重視しない方向に意識が変わっていくことがうかがえる。

全体的考察

同性から嫌われる特徴

「男性から嫌われる男性」の場合、「面白くない」という特徴があげられていたが、「女性から嫌われる女性」では、「面白くない」という特徴はあげられていなかった。この結果は、男性同士では「面白くない」ことは嫌われる特徴として重要であるが、女性同士では男性同士ほど嫌われる特徴として重視されていないことがわかる。

異性から嫌われる特徴

「女性から嫌われる男性」の女子学生の回答では、「不潔」「しつこい」「自分勝手・わがまま」「思いやりがない」という特徴があげられていた。一方、「男性から嫌われる女性」の男子学生の回答では、「自分勝手・わがまま」「暗い」「派手」「うるさい・おしゃべり」という特徴があげられていた。両者の間で共通するのは、「自分勝手・わがまま」のみであり、異性から嫌われる特性は男性と女性で大きな違いのあることがわかる。

嫌われる特徴に関する総括

Anderson (1968) は、アメリカでは「正直—うそつき」という次元が対人関係における好き嫌いを判断する重要な次元であることを示した。一方、我が国の松井ら (1983) の研究では、好かれる特徴として「思いやりのある」「やさしい」という特徴が上位項目としてあがっており、日本においては好き嫌いを判断する重要な次元は「思いやりの有無」である可能性が示唆された。本研究の結果は、この可能性を支持するものであった。表2～4のいずれにおいても、嫌われる特徴の上位項目には、「自分勝手・わがまま」という特徴があがっており、思いやりのない自分勝手にわがままな者が嫌われることを示している。したがって、日本では「思いやりの有無」という次元が好き嫌いを判断する次元として重要であることがわかり、アメリカと日本の文化の違いが明確に現れているといえよう。近年、Nelson-Jones (1990) は、思いやりが人間関係の基本であるとして、思いやりのスキル訓練を提唱しているが、本研究の結果からすると、日本人にとってはまさにこのようなスキル訓練が必要であるといえよう。

引用文献

- Anderson, N. H. 1968 Likableness ratings of 555 personality-trait words. *Journal of Personality and Social Psychology*, 9, 272-279.
- 菊池章夫 1988 思いやりを科学する—一向社会的行動の心理とスキル—川島書店
- 松井 豊・江崎 修・山本真理子、1983、魅力を感じる異性像—同性の推測と実際のズレ—日本社会心理学会第24回大会発表論文集, 44-45. (松井 豊 著 1993「恋ごころの科学」サ

イエンス社による)

- Nelson-Jones, R. 1990 *Human relationship skills : Training and self-help* 2nd Edition Cassel Publishers Limited, London. R. ネルソン=ジョーンズ著 相川 充訳 1993 思いやりの人間関係スキル——一人でできるトレーニング—— 誠信書房.
- 杉村 健 1979 教育心理学 近畿大学通信教育部
- 豊田弘司 1996 回想された好きな教師と嫌いな教師像 奈良教育大学教育研究所紀要, **32**, 93-98.